24年度第6回代表者会議（87th） 議事録

日　時: 平成24年11月27日(火)　午後6時30分～8時30分
場　所: テクノプラザかつしか　第2会議室
代表者会議構成者:
①黒﨑正典（会長/総括/代表者会議議長）
②吉村勝博（副会長/ｲﾍﾞﾝﾄ委員長/情報交換分科会代表）
③菅谷俊紀（副会長/会員プレゼンテーション委員長）
④中村博司（副会長/研修）
⑤石原祐治（副会長/協力事業推進室副室長/総務広報）
⑥金澤建治（会計チーフ）
⑦宮本武夫（総務広報委員長）
⑧池谷伸夫（研修委員長）
⑨高田照和（産学連携委員長）
⑩元井良郎（IT分科会代表）
⑪中村憲昭（エコ・ライフ研究分科会代表）
⑫猪瀬昇一（K＆T分科会代表）
⑬宮澤邦幸（分科会かつコレ代表/OSC開発代表）
⑭倉島　進（寅さん分科会代表）
以上　三役(会長・副会長・会計)と各分科会代表者と運営委員長で構成される 14名（敬称略／順不同）
当日出席依頼者:
⑮**講評:** 浅野文明氏
出席者: 黒﨑正典、吉村勝博、菅谷俊紀、中村博司、石原祐治、金澤建治、宮本武夫、池谷伸夫、中村憲昭、猪瀬昇一（18:45）、宮澤邦幸、倉島進、浅野文明　以上13名（敬称略／順不同）
対外事務局: 葛飾区商工振興課　中村友美
欠席者: 髙田照和、元井良郎
議　長: 会長　黒﨑正典
司会 ・ 議事録署名人: 副会長　吉村勝博
書記: 東商葛飾支部　鈴木康修

交流会目的
全員で交流会目的を吉村副会長の音頭で唱和した。
(1) 異業種交流会相互の理解を深め、技術の交流、経営情報の交換を通じて会員の資質の向上を図る。
(2) 企業経営全般にわたる視野の拡大と発想の転換をはかる。
(3) 新規事業、新製品開発の素地を醸成する。

1. 会長(議長)挨拶

皆さんこんばんは。お忙しいところありがとうございます。今日は、都立葛飾総合高校の学校運営連絡協議会が開催され、参加してきたのですが、本年の運営と来年に向けての運営の話がされました。異業種交流会としても、今回の産業フェアにて応援してもらったりといろいろなところで、調停を結んでいることもあり関わり合いをもっているもので、今後もがんばって欲しいという話があったもので、ご報告させていただきます。それから、この間産業交流展があり、異業種交流会全体の説明と個別の会員の展示があり、出てみて感じたことは、会員の中にいいものをもっているのに売り方が分からない、交流展に出て売り先を探したい、というニーズもあるものですから、異業種交流会の中では会員プレゼン等で会社紹介等発表してもらっていますが、今後さらに推進していきたいなと思います。製造に注力していて営業まで手が回らない会員もいるので、異業種交流会の皆さんで情報を共有し合って、売り先の紹介や支援を強く推進していかねばならないと感じました。今後の会員プレゼンとかで、どんどん自社PRして紹介しながら、皆さんの事業が活性化すればよいと思います。それから、理科大の産学連携の登録で、葛飾区以外の方もOKとなりましたが、是非登録をお願いいたします。また、理科大のコンテストも12月10日まで伸びているので、是非申し込みをお願いします。
本日も宜しくお願いいたします。

2. 議事録署名人の指名

議事録署名人として、司会の吉村氏が指名された。

3. 前回決定事項及び連絡事項の確認（司会）

4. 対外事務局より連絡（商工振興課　中村友美、東京商工会議所鈴木康修）

・産業フェアのパンフレットが出来上がりました。（区・中村氏）
・旅行会の進捗報告及びセミナーの案内（東商・鈴木）

5. 運営委員会から24年度事業進捗報告及び連絡について

(1) 会員プレゼン委員会（菅谷委員長）
配布資料に基づき、菅谷委員長より説明が行われた。

◆ 会費は一人4,000円の予定ですが、会の予算で負担いただけますか？（菅谷委員長）
→昨年は3,000円支払った気がします。（吉村副会長）
⇒個人負担3,000円、会の負担1,000円で実施することで決定。
→メールで会員に配信するのに、文面の作成を宜しくお願いします。（宮本）
→分かりました。（菅谷）

◆ オブザーバーや入会希望の方の参加もいいのではないでしょうか？（黒﨑会長）
→よいです。ただ、その際は会費は4,000円いただくこととなります。（菅谷委員長）

◆ 来年2月の会員プレゼンについては、12月に会議を開いておきます。（菅谷委員長）
→1月の代表者会議までに、まとめておいてください。（吉村委員長）

(2) 総務・広報委員会（宮本委員長）
配布資料に基づき宮本委員長から報告が行われた。

◆ 元井さんの休会届については保留になっていたので、もう一度提出します。（宮本委員長）
→HPの問題に関し、元井さんに配達証明で文書を送っている。一回目が戻ってきて、11月13日に2回目を送り、同時に普通郵便でも送った。配達証明の分については、戻ってきてしまった。理由としては「不在のため」とのことです。なので、一回近日中に、家に行ってきます。いるかいないかを確認したうえで、次のステップへ進みたいと思います。おそらく、受け取らないで放置されているのかわからないのですが・・・。あとは、メールで送ることも考えています。IT分科会の休会届の住所へ送っているので、9月末の話なので、住所変更や引っ越したなどは考えづらい。ドメイン解除は未解決のまま。今後の段階では、gr.jpの使用をあきらめるか、今後も進めていくかは皆さんと話し合わなければいけない。しかし、こういう状況なので休会届も受理できない。このままだと除名処分になってしまう。法的処理についても、そこまでは考えたくはないのですが、知り合いの弁護士に相談したら着手金や日当等で70万円ほどかかるとの話とのこと。（黒﨑会長）
→他の企業からの話なのですが、会社のHPの運用を元井さんに依頼していた会社があり、一部掲載情報を変更するために元井さんに連絡し、1回目は電話がつなが

り話ができ依頼できたのですが、その後変更されないので連絡したところ、つながらなくなってしまい、異業種交流会のHPを見たら「ご愛顧ありがとうございました」とHPに掲載されていたため、異業種交流会が解散したのかと私のところへ連絡がありました。外部の人がそのように見て、錯覚してしまったという話です。（中村代表）
→会としてどうしようとするのか、着地点が見えない状況。今後、どうやって決めていくのでしょうか？（石原副会長）
→いずれにせよ解決策を出さないとならないと考える。今の状態のまま応じないということであれば、次回の代表者会議で、除名処分の決議をとらないといけない。ドメインに関しては、その場合にはgr.jpに拘らず、.jpや.com等、で対応していくことを早急に総務広報で検討してほしい。（黒崎会長）
→会としては、何もできないということですか？（石原副会長）
→除名処分、という形で解決するしかないと思います。しかし、もし何か弊害するようなことであれば、なにか手を打たないといけないかなと思います。こちらで、元のHPを消すことはできないのですか？（黒崎会長）
→本人が辞めない限りは、できないです。（石原副会長）
→当面無視して、新しいHPが動いていけば、そのうち放棄するのではないかと思います。ただ、会長が一度行くということなので、行った結果だと思います。行ったときに話ができれば、それはまた別の話ですがそれしか方法がないのではないかと思います。また、元の異業種交流会HPは他の異業種交流会とリンクをしてしまっており、それがまずいと思います。それは変えることはできませんか？（吉村副会長）
→相手方の問題なので、できないです。（石原副会長）
→元井さんに関しては、長々と問題を抱えて、異業種として大変だと思います。法的に戦うということであれば負けないとは思いますが、不毛な戦いをやっても仕方ないと思いますが、12年間ありがとうと載せているHPは当交流会と一切関係ありません、除名処分されております、と載せるのはやりすぎ？（浅野相談役）
→それは非常に建設的と思います。元井さんとの関係は個人的なものなので、法的なもの以外であれば、こちら側からの対抗措置としてそういうメッセージを載せることはありかと思います。前向きな解決策だと思います。（石原副会長）

◆ 会として除名処分にするかどうかについては、HPをどうしていくかとは別にして、会長が一回行くということなので次回に結論がでればいいと思います。（石原副会長）
→現状、元井さんのHPは、検索されない状態ですか？（黒崎会長）
→検索結果の下のほうには出るかもしれませんが、トップには、現在のHPが表示されます。（石原副会長）
→実害はだいぶ少なくなってきているとは思いますが、第三者から問合せがあったときに回答に苦慮する。（黒崎会長）
→現在のHPに、一切の関係はございませんと明記するのが一番では？（浅野相談役）
→12月は執行会議なので、正式な決議はできないので、正式な決議は1月になってしまいます。なので、私のほうで一度元井さんのご自宅を訪問し、またメールでも連絡をとり、例えば1週間回答がなかった場合等、除名処分にすることで決議を取りたいと思いますがいかがでしょうか？ドメインやメーリングリスト等にも影響があるため、早めに対処しなければならないと思います。（黒崎会長）
→期限を決めていただきたいと思います。ドメインの変更を行うのであれば、年内に対応するのであれば期限を決めて動いていきたいです。（石原副会長）
⇒12月5日までに回答がない場合、元井氏を除名、新ドメインを取得して動き出すことで、全会一致で承認。

◆ 最終通告は12月5日とのことですが、回答が来たらどうしますか？（宮澤代表）
→それであれば、話し合いが進むということになります。（黒崎会長）
→元々であれば、新しいHPを開始する際に結論が出るべき話。時間が経ちすぎて、被害が大きくなりすぎていると思いますので、今回の会議で除名の決議をとってもいいのではないでしょうか？（宮澤代表）
→なるべく穏便にやるという話があったかと思いますが、元井さんから回答があり、gr.jpを放棄していただき、新しいHPでgr.jpで運用していくのが目指すべき話かと思います。その期限を12月5日に設定するということではないでしょうか？（石原副会長）
→会としては、会として善意を持って、元井さんの立場に立ってやっていかないとまずいと思います。異業種交流会の功労者ですから。しかし、再三連絡をしてもどうしようもなかった、ということにしなければならない。そのためには、1週間なりの猶予期間を与えることが大人の解決方法だと思います。一方的にするのはまずい。（浅野相談役）
→宮澤さんからは、解約を承諾してもしなくても除名対象である、との話でしたが、浅野相談役からの話にもあったように、会のいままでの功労者であるため、そこら辺で決め兼ねない部分もあると思います。（黒崎会長）
→本人から退会の申し出があった場合には、退会扱いになるのでしょうか？（池谷委員長）
→ドメインの放棄をしてくれるかくれないか、によると思います。（石原副会長）
→12月5日の期限を設定するか、この場で除名処分の決をとるか、決議を取りたいと思います。（吉村副会長）
→皆さんから、功労の話もあるとのことなので、先ほど会長から話のあった期限を決めるやり方でいいです。（宮澤代表）
→それでは、先程の決をもって、決議としたいと思います。（吉村副会長）

(3) **研修委員会**（池谷委員長）

配布資料に基づき池谷委員長より説明が行われた。

◆ 研修旅行の収支報告について、決議をお願いします。（池谷委員長）
⇒全会一致で了承された。

◆ 賀詞交換会については、FMの佐々木さんに了解をいただきました。経営者のための、人の心を掴む会話術、のようなテーマでお話いただくこととなりました。賀詞交換会の会費については確認しておりませんでしたが12月の頭に案内を出したいと思います。会からは、一人あたり1,500円の補助金が出る予算となっておりますので、ひとりあたり4,000円の会費負担でお願いしたいと思いま

す。（池谷委員長）
→1,500円×20名で、30,000円で会からの負担を計上しています。（宮本委員長）
→予算は、40名分の収入予算が計上されていますが、支出は20名分しかついていません。これを40名分に直した予算にしてもよろしいでしょうか？（池谷委員長）
→書き方がおかしい。40名の参加を予定しているのであれば、40名分の支出を予算化すべきではないでしょうか？（吉村委員長）
→1,500円×人数分で考えてもよろしいでしょうか？（池谷委員長）
→20名を超えた場合、人数×1,500円で計上してもよろしいでしょうか？（吉村委員長）
⇒全会一致で決定。
→予算を作って執行してきたのに、人数が変わると支出が変わるというモノの考え方でいいのですか？（浅野相談役）
→ゴルフは一回あたりの会負担が決まっているが、賀詞については一人あたり1,500円と決まっている。来年度の予算申請では、人数が一致するようにさせていただきたいと思います。（池谷委員長）
→12月の頭に、賀詞交換会の案内を出したいと思います。時間ですが、17:30からの開始でよろしいでしょうか？早く開始することは会場として可能ですか？（池谷委員長）
→確認して連絡します。（中村氏）

◆ 浅野相談役からご指摘頂いた点については、予算案を作成する際に十分注意し、以後そのようなことがないようにします。（吉村委員長）

◆ 賀詞交換会の司会等の役割はどうしますか？（吉村委員長）
→次回の執行会議で相談させていただきたいと思います。（池谷委員長）

(4) **イベント委員会**（吉村委員長）
配布資料に基づき吉村委員長より説明が行われた。

◆ 産業交流展についての報告が行われた。委員長は準備の際しか参加できなかったため、当日の様子について黒﨑会長より報告があった。
→出展者同士の交流や意見交換などが行われていたことが印象的でした。私が丁度いた時に、北区と品川区の地域振興課がいらっしゃいましたが、4コマということでけっこう目立っており、行政もいらっしゃっていろいろとヒアリングを受けました。我が区でも異業種の活性化を図りたいが、ノウハウがあったら教えて欲しいという質問がありました。葛飾区の開発商品として、ミニダムやタフレンジャーが展示されており、けっこうインパクトはありました。来年度ももっと多くの人々にご参加いただき、PRができればと思います。実際に商品が出れば、異業種交流会の仲間がどんな商売をやっているかよくわかると思います。そうすれば、お互いに営業し合えるようになればいいと思います。（黒崎会長）

◆ ものづくりファッションフェアについては、FAX番号を誤っておりました。本日、宮本さんに資料を渡しましたが、申し込みを12月10日まで期限を延ばしました。前回のファッションフェアのアンケートでも、「会員製品をもっと出して欲しい」という意見が多くありましたので是非ご協力をお願いいたします。今回、区産区消をメインテーマにしたいと思います。新しいイベントについても意見をいただければと思います。また、会員出展製品の中には、一見するとどんなものか分かりづらいものも多いかとおもいます。新しい試みとして、すべてにキャプションをつけ、その製品がどんな風に使われるのかを説明することにより、より来場者に分かりやすいものになるのでは、という意見があり、是非やりたいと思います。（吉村委員長）

◆ 産業フェアでの防災アンケートについては、回収率30%となっています。提出については宮澤さんよりご報告をお願いします。（吉村委員長）
→11月の頭に、区・教育委員会にアンケート集計結果を提出しました。（宮澤代表）

(5) **産学連携委員会**

◆ 30日に、高校で会を持つとのことで、次年度を含めた話がでるのではと思います。浅野相談役も出席予定と話をきいておりますので、ここで一つ、交流会と総合高校との連携が深まればと思います。（宮澤代表）

(6) **協力事業推進室**（石原副室長）
配布資料に基づき石原副室長より説明が行われた。

◆ 産業フェアは、区の最大イベントであり、異業種交流会として分科会の発表の場として、産業フェアにぶつけるというのも一つの考え方と思われます。その中で、今回は情報分科会が主力でやっていただき、メインブースが一つ形になったと思いますが、他の分科会ではパネルの展示で終わってしまっていた。今後、異業種交流会全体として、来年2月から、来年度の産業フェアの委員会がスタートするにもかかわらず、異業種の総会は来年4月であり、何かしら方針を検討することが必要ではないかと思います。（石原副会長）
→10万円予算は、第1部しかないときからずっと10万円。第2部が増えても10万円となっており、予算を考え直す必要があるのかなと思います。（吉村副会長）
→産業フェアは、私が実行委員長のときに、第2部の農業・伝統産業を盛り上げようということで始まったもの。吉村さんから話があったように、やることが増えれば当然お金もかかるもの。やっぱり、必要な予算は増やすべきで、その順位を皆さんで考えていけば、予算の執行でいい結果が出るのではないでしょうか？見直すときに来ていると思います。（浅野相談役）
→産業フェア実行委員会は2月からスタートするにもかかわらず、異業種の総会は4月であるため、バトンタッチの意味もこめて、まずは2月3月の協力事業推進室は石原さんに担っていただき、上手くやっていただければいいと思います。また、分科会の取り組み方と予算配分を見たときに、予算ありきの使い方になっていないかという見方があります。例えば、各企業さんのPRの元に、分科会が成り立っていると考えれば、企業さんから出展費等をもらうことも可能かと思います。10月に向けて、それぞれの分科会で行程表を作って、山場を産業フェアに持っていく様な行程表を異業種交流会側で作成することも一案かと思います。（宮澤代表）
→異業種交流会として、産業フェア実行委員会にでるメンバーは固定ですよね？（池谷委員長）
→オブザーバーとして出るのは可能です。（黒崎会長）
→丁度来期が人事の改正の時期であり、僕の時にもあったのですが、産業フェアの人事だけ、先に内示で決定していました。正式な人事は総会時になるのですが、

それだと駆け足になってしまうので、先に決めて動いていました。（吉村副会長）
→次の協力事業推進室長は、今の委員から出してもらうようにしていたはずです。（吉村委員長）
→流れを知らず申し訳ございません。そして、委員でも十分周知は出来ていないと思います。（石原副会長）
→産業フェアを分科会発表の場とするのであれば、分科会から代表者もしくは担当者を出していただき、その集合体が協力事業推進室ということであれば、受発注情報交換会の人員協力等もスムーズに行くと思います。現状では、ここで決めたことがメーリングリストで発表するだけになってしまうので、仕組みとして必要ではないか、と思います。（石原副会長）
→ここ数年の産業フェアは、物販という形が強かったように思います。産フェアについては、専門性も高いことから、如何に継承していくか、ということも考えなければなりません。（黒﨑会長）
→来年度の産フェアについては、実際にやってみて、絶対分科会から一人出さないとだめだと思います。12月に分科会が開催されると思いますが、その中で協力事業推進室の担当を選定してもらったらいかがでしょうか？イベント委員会もそうですが、対外的にやる委員会については、会全体として事業を推進していくために、各分科会からメンバーが必要だと思います。是非選んでいただきたいと思いますが、もし間に合うのであれば、事前に分科会で協力事業推進室の担当を選んでいただくのはいかがでしょうか？また、委員会は2年間継続となりますので、2年間担当してもらいたいと思います。（吉村委員長）
→確か、昔は産業フェアにはメインとサブがおり、2年目はサブがメインをできるように共に担当していただいたように思います。こういった取り組みを復活させてもいいのではないでしょうか？次の人を育てる、というのは必要な話だと思います。（浅野相談役）
→協力事業推進室は、各分科会からメンバーになっています。メンバーに対して、分科会代表であるということを意識付けしてもらってはいかがでしょうか？（黒﨑会長）
→丁度来年改選時期であるため、このﾀｲﾐﾝｸﾞで選定を行うことにより、選ばれたメンバーも主旨をよく理解してもらえると思います。そういうわけで、如何でしょうか？意識を上げていただくという意味では、分科会で各委員会に担当者を割り振って頂いたほうがいいのかもしれません。前回はアンケートにてお願いしましたが、分科会で選んで頂いてもいいのではないでしょうか？（吉村副会長）
→メンバーが熟知していただき、運営に協力していただくことが肝要かと思います。（黒﨑会長）
→12月の分科会で、協力事業推進室のメンバーを選定してください。1月29日の代表者会議にて各分科会から報告をお願いいたします。（吉村委員長）

6.　会計報告（金澤会計チーフ）

◆ 現在、未入金は1名です。（金澤チーフ）
→最終の入金確認はいつですか？（黒崎会長）
→11月6日あたりです。（金澤チーフ）

◆ 予算の案出しについては、誰に出せばいいですか？（池谷委員長）
→三役に出して頂ければと思います。私に出して頂ければ結構です。（黒﨑会長）

7.　分科会活動報告お呼び次月活動予定について

【寅さん分科会】倉島代表

◆ 前回、2名の入会を可決しましたが、近いうちに2名もしくは1名の入会届を提出します。

【エコライフ分科会】中村代表

◆ この指とまれについては非公開としておりますが、こちらは第三者が月例報告を見ることが出来てしまうためです。新HPでは、会員専用ページで見られるようにしてもらいたいです。（中村代表）
→一応、月例報告は会員専用ページにおくという意見がありました。（宮本委員長）

◆ 会員向けについては、宮本さんからご案内をお願いいたします。（倉島代表）
→文書を書いてメールをしてください。（宮本委員長）

8.　総評（浅野氏）

皆さん、お疲れ様でした。いつ来ても、皆さんの頑張っている姿には頭が下がりますし、頑張っている姿を見ていると前会長としては、嬉しい気持ちと同時に、申し訳ない気持ちになるかと思います。先程も会長から話がありましたが、他の区からも羨ましがられるほど、皆さんが頑張っているんだと思います。ただ、皆さんが頑張っている姿が、会員の皆さんが分かっているかというと、そうではないという点をみると、こんなに頑張っているのに…と思います。時間も押していますのではしょりますが、一番大事なことは先程の産フェアの話にも出てましたが、来年は役員が変わる時期に来ており、既に代表者会議のメンバーでは十分合意が取れているのかもしれませんが、新体制で、新しいカラーで運営をされていくのかなと思いますが、今日見ていると、新しい会員が増えるということですが、私がやっていた頃は、異業種交流会ですから業種1種に一人という感じでしたから50～60人になるとは思っておらず、せいぜい30人程度だと思っていたのですが、こうやって組織が膨張し、皆さんの活動が活発になってくると、役員たちの負担も大きくなっていくと思いますので、次の役員たちがどのような形でどうなるのかわかりませんが、お願いとしては何とか会の運営をシンプルにし、皆さんの負担が少なく喜んで集まれる会になってもらえたらなというのが、皆さんが頑張っている姿を見て最後に感じた次第です。ありがとうございました。（浅野氏）

◎次回以降開催予定日

・1月29日（火）　第7回代表者会議　テクノプラザ第2会議室

会員合同研修旅行

日　時：平成24年11月16日（金）・17日（土）
場　所：浅間温泉「ホテルおもと」宿泊、石井味噌・松本市美術館・旧開智学校・国宝松本城　視察
今年も東京商工会議所葛飾支部の会員視察研修会に参加しました。
出席者：飯吉修一呂、池谷伸夫、金澤建治、工藤郁雄、倉島進、佐川安寿、高嶋廣幸、中村博司、宮本武夫　以上9名（50 音順／敬称略）

第 94 回情報交換分科会定例会議事録

日　時：平成 24 年 11 月 6 日(火)　18:30～20:30
場　所：1 部　テクノプラザかつしか 2F 第二会議室
2 部　1F はなみずき

出席者:河村光治、金澤建治、小堀泰克、佐川安寿、長保行、二ノ宮康弘、宮沢邦幸、吉村勝博、原山静男、倉島　進、池谷伸夫、入山央、黒澤修史、千葉英樹、石原裕治　以上15 名
欠席者:浅野文明、芦澤唯志、中村憲昭、石川　薫、梅田信利、石井孝昌、小田朋和、高田照和　以上8名
オブザーバ:福原商店様、酒井電気様
司　会:吉村勝博　**書　記:**吉村勝博

第1部　代表者会議からの各種報告と連絡
情報交換分科会が産フェアで行った区内小中学校のアンケートの集計結果を報告した。
4,000 枚配布し 1,188 枚回収　約 30%の回収率。
第2部　分科会活動
産業フェア反省会と慰労会
(1) 会長より挨拶
(2) 協力会社より一言づつご挨拶をいただいた。
(3) 佐川氏の音戸で乾杯。
その後は 8:45 まで会員相互の穏やかな懇親が続いた。情報交換分科会としては今後もこのような和やかな会も良いとの意見が多く、今後も不定期ではあるが開催してゆくことになった。
◎　次回開催予定
平成 24 年 12 月 4 日(火) ﾃｸﾉﾌﾟﾗｻﾞ 2F 第二会議室

第 94 回 K&T 分科会定例会議事録
日　時:平成 24 年 11 月 7 日(水) 18:30～21:00
場　所:テクノプラザかつしか 3 階 団体連絡室
出席者:猪瀬昇一、山本博子、湯本晃透、高野山文夫、中村憲昭　以上 5 名
欠席者:菅谷俊紀　以上1名
司　会:猪瀬昇一　**書　記:**猪瀬昇一

1.　産業フェア報告
2.　代表者会議の報告
3.　今後の予定
(1) 11 月 20 日～11 月 22 日の産業交流展 2012 について参加予定(サンエービルドシステム㈱、㈲システマックス)
(2) 2 月 7 日～2 月 8 日の震災対策技術展 2013 について参加予定(サンエービルドシステム㈱、㈲システマックス)
(3) 忘年会について(山本さん担当)
(4) その他
◎　次回開催予定
平成 24 年 12 月 5 日(水)忘年会と定例会は一緒です。

第 6 回 OSC 開発分科会定例会議事録
日　時:平成 24 年 11 月 12 日(月) 18:00～20:30
場　所:テクノプラザかつし団体連絡室
出席者:宮澤、石原、三浦、以上 3 名
欠席者:黒崎、高野山　以上2名
司　会:宮澤　**書　記:**三浦

1.　事務局連絡事項について
2.　これまでの開発ついて
前回の試作と試験で良好な点や改善を要する点が分かった。特に、定量的な試験データは有効である。これらのデータをもとに新しい案を考えて欲しい。
3.　今後の開発について
年度のスケジュールに従い、開発を進めで欲しい。今少し意気込みが薄れているようなので頑張ってほしい。開発の段階で特許を必要とするものがあれば申請のみを行うことも十分考慮するのでどしどし案を出して欲しい。
4.　会員の参加について
全員が揃わないことが多いので今後はできるだけ多く集まる日を設定することも考慮する。
5.　行政とのつながりについて
開発が進んでいないので疎遠になっている。現状を説明し今後も力を入れて開発に取り組んでいくことを理解していただくように活動する(石原さんの尽力を期待)。
6.　業務担任について
石原さんに会計を引き続きお願いする。
◎　次回開催予定
平成 24 年 12 月 11 日(月) 18:00～ テクノプラザ

第 104 回エコ・ライフ研究分科会定例会議事録
日　時:平成 24 年 11 月 13 日(火) 18:30～20:30
場　所:テクノプラザかつしか 3 階 団体連絡室
出席者:石井孝昌、黒崎正典、重永裕祥、高野山文夫、吉村勝博、中村憲昭　以上 6 名
欠席者:浅野文明、石原祐治、小堀秦克、佐川安寿、鈴木益雄、鈴木光江、三浦誠吉、　以上7名
司　会:中村憲昭　**書　記:**中村憲昭

1.　執行会議からの連絡／報告事項（事前に通知済みのため省略）
2.　確認事項
(1) 産業交流展:11 月 20 日(火)～22 日(木)(ビッグサイト)
⇒応援してください
出展者:㈱江東堂高橋製作所・㈱セレモニーユニオン・ダイコク㈱・㈲小堀加工所・㈱オンネットシステムズ・㈲システマックス・サンエービルドシステム㈱…計7社
場所:東2・3　環境5番
(2) 震災対策技術展:2013 年 2 月 7 日(木)～8 日(金)(横浜ﾊﾟｼﾌｨｺ)⇒応援してください
出展予定者:サンエービルドシステム㈱、㈲システマックス…計 2 社
3.　協議事項
『この指とまれ？！』の案件について(アイデア保護のため非公開)
◎　次回開催予定
平成 24 年 12 月 11 日(火) 18:30～20:30 ﾃｸﾉﾌﾟﾗｻﾞかつしか 3 階 団体連絡室

第 98 回 IT 分科会定例会議事録
日　時:平成 24 年 11 月 14 日(水) 18:30～20:00
場　所:テクノプラザかつしか 2F PC ステーション
出席者:宮本武夫、力丸保二、池谷伸夫、飯吉修一呂　以上 4 名
欠席者:工藤郁雄、金澤建治、元井良郎　以上3名
司　会:宮本武夫　**書　記:**池谷伸夫

1.　代表者会議からの連絡・報告事項
(1) 秋の研修旅行の参加者数等の報告・確認
(2) 本分科会代表の元井氏からの休会届の件の説明

(3) 交流会HPのアドレスの取得状況の説明

2. 本年度事業について

次回 12 月定例会は分科会の忘年会とする。

日程の変更について検討。12月12日(水)6時半　東山(高砂)に決定。

前回 12.14 でと決定していましたが、会場の都合で変更に成りました。

参加会費は 1,000 円で、残は分科会より負担。

3. パソコンについての勉強会

(1) デスクトップ上の「アイコン」が急に消えてしまった。
対処方法を勉強しました。

(2) ワードのページ設定時、行間の間隔の設定方法は？
同じく先頭文字の合わせと位置の設定方法は？
同じく文字の大きさの行によって変更する設定方法は？
初歩的なものですが上記が混同する場合の方法等勉強。

4. 今後の分科会の方向性

現在会員の中にFAX専門連絡希望者がおり、その方々のメールの勉強会もふくめ広く門戸を開け、会員に役立つパソコン教室の開催(定例会)を会内に広くアピールしていきたい等を話し合いました。

◎ 次回開催予定

12月12日(水)高砂・東山(忘年会)18:30～20:30

第90回寅さん分科会定例会議事録

日　時:平成24年11月20日(水)17:00～21:00
場　所:「赤兵衛」(足立区綾瀬1-38-1)
出席者:阿部、佐川、高嶋、高橋、中村、松村、倉島　以上7名
欠席者:朝倉、石井、大木、金子、佐々木、村上　以上6名
オブザーバ:大垣、山井　以上2名
司　会:倉島　**書　記:**倉島

1. 交流会予定他

①12/20 会員懇親会(青戸「千年の宴」)、②1/1 新年賀詞交歓会(テクノプラザ)、③2/26 本年度第 3 回の会員プレゼン、④3/2 ものづくりファッションフェア(青戸「ユアエルム」)

2. 交流会報告

①ホームページ1月から新しくなります。(遅れは元井会員による抵抗)。②葛飾区制 80 周年で交流会が表彰されました。(10/1)。③葛飾ブランドに「雨水タンク」が認定されました。(冊子に掲載予定)。④区の補助金が 100 万円、3 年で 300 万円になります。利用推薦。⑤11/29 に商工会議所の講演会があります。⑥産業フェアは前半 74,000 人、後半 22,000 人、計 96,000 人でした。⑦産業フェアで配布した金券は 25 枚の使用でした。⑧エコライフ分科会が 25 年度から『ものづくり研究分科会』に名称変更となります。⑨新年賀詞交歓会の講演者はかつしか FM の佐々木さんを計画しています。⑩11/16～17 実施の交流会研修旅行(東商葛飾支部と合同)があり、松本城他を見学しました。

3. 次回ロケ地訪問の計画

①次回第12作は熊本県(天草、阿蘇)で、他に第21作の(田の原温泉)も熊本県があり、次回の訪問先は熊本県に決定した。日程は 12 月定例会で決定することとした。

4. その他

(1) 東都経済懇話会から「葛飾の天災 200 年」冊子の提供がありました。

(2) 新会員について(検討の結果、本日ゲスト参加の山井さん、大垣さんについて入会が承認されました。)

◎ 次回開催予定

平成24年12月25日(火)予定「老舎」 担当:佐川委員

11 月定例会中止の分科会

◇ 分科会かつしかコレクション分科会

発行:かつしか異業種交流会総務広報委員会　会員事務局
編集:(IT 分科会) 飯吉修一呂
監修:総務広報委員会

【分科会定例会開催日】
IT(第 2 水)、ｴｺ・ﾗｲﾌ研究(第 2 火)、OSC 開発(第 2 月)、情報交換(第 1 火)、K&T(第 1 水)、寅さん(第 3 水)、かつしかｺﾚｸｼｮﾝ(第 3 月)

[問合先]『かつしか異業種交流会』
◇対外事務局　葛飾区商工振興課　03-3838-5587
◇会員事務局　総務広報委員会
E-mail:miyamoto@orange.ifnet.or.jp
交流会 HP からも可能です。
http://www.katsushika-igyoushu.com/